

令和 6 年度取組実績及び令和 7 年度取組概要

1 令和 6 年度取組実績（重点取組項目）

（１）過密人工林の一掃に向けた間伐の推進

内容	・健全化の達成基準の明確化 ・団地計画の進捗状況の検証 ・私有林人工林の集約化 1,100ha ・過密ステージにおける間伐 260ha
主な取組実績	・健全化の達成基準案について森づくり委員会で合意（2 月） ・8 団地において団地計画の進捗状況を検証（7 月～3 月） ・集約化 1,099ha（※ 団地化 1048ha、一括化 51ha） ・過密ステージの間伐 153ha

（２）持続可能な森づくりの課題への対応

内容	・森林所有者の森林離れを踏まえた新たな森林管理の仕組みの具体化 ・次期構想の策定に向けた課題の整理（森林区分、目標林型、森林整備の指針等） ・森林作業員向けの安全教育研修の実施 ・新規就業者確保のための見学会の実施
主な取組実績	・「森の相談窓口」の設置を決定（3 月） ・森林区分等の案について森づくり委員会で合意（2 月） ・作業員向けの安全研修及び新規就業者確保イベント「林業体感・見学ツアー」を実施（7 月～3 月）

（３）効率的な林業用路網の管理手法への転換

内容	・管理区分を踏まえた林道パトロール体制の試行 ・BCP 路線の整理と災害パトロール体制の方針整理
主な取組実績	・1 班体制での林道パトロールを試行（4～3 月） ・BCP 路線の現地調査を実施（藤岡・小原地区：5～6 月）、藤岡地区の BCP 路線を整理（3 月） ・災害時のパトロール体制の方針整理（3 月）

（４）地域材の利用促進

内容	・豊田市産材の市内流通を促す取組の検討と実施
主な取組実績	・ウッディーラー豊田の新たな方向性の素案を作成（3 月） ・地域材セミナーを開催（7 月）

（５）森林環境教育及び普及啓発の推進

内容	・実行委員会によるとよた森林学校の運営と検証 ・流域学習プログラムの実施体制の整備
主な取組実績	・実行委員会による運営実施、次年度も継続を確認（4～12 月） ・教員向け研修を実施（8 月） ・森づくり月間イベントの実施（10 月）

2 令和7年度当初予算概要

会計	目	R7 年度	R6 年度	増減額
一般会計	林業費	931,060	943,059	△11,999
	【財源内訳】			
	国庫支出金	178,000	222,915	△44,915
	森林環境譲与税	208,540	189,100	19,440
	その他特定財源	81,959	37,853	44,106
	一般財源	462,561	493,191	△30,630
	災害復旧費	26,000	26,000	0
特別会計	【財源内訳】			
	一般財源	26,000	26,000	0
	水道水源保全費	85,322	85,514	△192
特別会計	【財源内訳】			
	水道水源保全基金 他	85,322	85,514	△192

3 令和7年度予算等から見る事業予定数量

項 目		予算措置・実績 数量	
		R7 年度(予算)	R6 年度(実績)
間伐事業量		972ha	775.02ha
	切置き間伐（市関連）※1	452ha	332.71ha
	切置き間伐（県関連）※2	320ha	242.20ha
	利用間伐（市上乗せ）	20ha	－
	利用間伐（市上乗せなし）	180ha	170.40ha
	その他	－	29.71ha
森づくり団地面積		1000ha	1048.03ha
路網		25,398m	45,616m
	林道（林業専用道含む）	－	164m
	作業道	2,100m	1,165m
	搬出路	23,298m	44,287m

※1 間伐促進事業や矢作川水源基金など切置き間伐に対して市が予算執行する事業

※2 県が執行するあいち森と緑づくり事業や治山（保安林）事業

4 具体的施策（新・豊田市 100 年の森づくり構想、第 4 次森づくり基本計画）

基本理念 1 公益的機能が発揮される森づくり

施策	1 過密人工林の健全化 2 持続可能な森づくりに向けた仕組みの整備 3 森林情報基盤の整備		
主な取組内容	私有人工林の団地化（900ha）、過密ステージの間伐（260ha）、団地計画の進捗状況の検証（10 団地）、森の相談窓口、森づくり情報基盤整備業務、地籍調査		
主な事業	事業名	予算額（千円）	増減額（千円）
	・団地化推進費	74,671	△3,754
	・間伐関係補助金、委託費	239,619	80,869
	・水源かん養機能モニタリング調査費	11,322	808
	・森林管理支援費 NEW	503	503
	・計画推進費 一部 NEW	50,447	46,000
	・森林地域地籍調査事業費補助金	5,577	4,304

基本理念 2 木材の循環利用を進める森づくり

施策	4 経済と保全のバランスがとれた木材生産 5 効率的な林業用路網の管理と整備 6 地域材の流通と利用促進		
主な取組内容	林道改良、修繕ほか、管理区分を踏まえた林道パトロール体制、中核製材工場への原木供給（28,800 m ³ ）、テナント店舗木質化モデル事業		
主な事業	事業名	予算額（千円）	増減額（千円）
	・高性能林業機械施業促進費補助金	3,630	1,333
	・林道舗装費（6 路線）	97,220	△46,570
	・林道改良費（7 路線）	73,853	△37,057
	・地域材利用拡大推進費	8,090	1,000

基本理念 3 地域づくりと一体となった森づくり

施策	7 山村振興と森づくりとの融合		
主な取組内容	地域と一体となった森づくりモデル事業、危険木伐採補助		
主な事業	事業名	予算額（千円）	増減額（千円）
	・危険木伐採支援事業補助金 NEW	10,000	10,000

基本理念 4 人材育成と共働による森づくり

施策	8 森づくり人材の確保・育成 9 森づくりへの市民理解の醸成 10 共働による森づくりの推進		
主な取組内容	林業大学校等就学支援（6 人）、新規就業者確保のための見学会、伐木協議会支援、森林学校実行委員会負担金、森づくり月間啓発、流域学習プログラム		
主な事業	事業名	予算額（千円）	増減額（千円）
	・森づくり推進組織育成支援費交付金	40,000	△6,000
	・新規就業者育成推進対策費補助金	20,000	△4,000
	・人材育成費（森づくり推進費）	2,500	0
	・森林環境教育推進費	15,540	△4,350